

# 第1回 甲府市上下水道事業懇話会 会議録

- 会議の名称：第1回 甲府市上下水道事業懇話会
- 開催日時：平成27年8月28日（金）午後4時～午後5時10分
- 開催場所：甲府市上下水道局 3階大会議室
- 出席委員：込山芳行委員、風間ふたば委員、塩谷知則委員、齋藤伸右委員
- 欠席委員：なし
- 傍聴者数：0名

## ■ 次第

1. 開会
2. 職員紹介
3. 座長の選出  
座長に込山芳行委員を選出
4. 座長あいさつ及び職務代理者の指名  
職務代理者に風間ふたば委員を指名
5. 懇話会の運営について
  - ・所掌事務
  - ・会議の公開
  - ・会議録
6. 懇話
  - (1) 上下水道事業概要について
  - (2) その他
7. 事務連絡
8. 閉会

## ■ 懇話内容

- (1) 「上下水道事業概要について」

### 【座長】

次第6の懇話に移らせていただきます。

- (1) 上下水道事業概要について、事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

上下水道事業概要及び予算決算について説明がありましたが、質問や意見はありませんか。

【座長】

累積の企業債は、どの位でしょうか。

【事務局】

平成 26 年度末現在の企業債残高は、水道事業で約 52 億円です。

【座長】

利息の支払いは、毎年どの位支払っていますか。

【事務局】

毎年度、約 1 億 8,000 万円支払っております。

【座長】

52 億円に対して、高い金利ですが、他に企業債を借りる機関が無かったわけですね。

【事務局】

そのとおりです。

【座長】

背景を聞きますと、事業収入は、年々低迷傾向にあることから、企業債を借りることはやむを得ないと思います。対策等をこの懇話会で提言していけばよろしいでしょうか。

【事務局】

水道事業に関しましては、昭和 50 年度からの第 5 期拡張工事の終了時が企業債のピークで約 300 億円でありました。その後、水道料金収入等で償還し、現在は、約 52 億円の残高となりました。この拡張工事が終了して、30 年程経過しているため、今後老朽化施設の更新時期となりますので、懇話会で更新等についてご提案いただき、世代間の公平性を保つということで今後の施設の整備については、新たな企業債の借入れもやむを得ないと考えております。

【座長】

これは、甲府市の行政の一環なのだけれども、市からの負担金等はないのでしょうか。

【事務局】

水道事業に関しましては、昭和 63 年に築造した荒川ダムの市の負担金として、年間 4,000 万円程頂いておりますが、事業に対する繰入金は、一切

頂いておりません。

**【座長】**

甲府市のルールですか、それとも全国的な繰入金基準があるのでしょうか。

**【事務局】**

基本的には、繰入金を頂かないというのが全国的な基準ですが、小さい市町村については、料金を上げることができない等の理由から繰入金基準外ということで、料金に対する補助を行っています。

下水道事業の雨水に関する費用については、甲府市から繰入金を頂いております。

**【座長】**

一つの独立した事業体ということではありますが、企業努力によって、どうにかなるといふわけにもいかないですね。

**【事務局】**

水道事業に関しては、歴史も古く使用者の方々に理解いただいているところではありますが、下水道事業に関しては、まだまだ普及していかなければならないということで、一般会計の繰入もやむを得ないと考えております。

**【座長】**

他の委員から何かありますか。

**【委員】**

本来蓄えておくべき減価償却費等の支出を資本的収支額の不足する額に補てんしているということは、ぎりぎり事業運営しているということでしょうか。

**【事務局】**

減価償却費等の支出は、蓄えておくのが最良な運営と考えておりますが、水道事業においては、翌年度の資本的収支不足額に補てん可能となっておりますので、現在は、決してぎりぎりでの事業運営というわけではありません。

**【座長】**

他の委員から何かありますか。

**【委員】**

災害時のためにマンホールトイレ等の設置をしてあるが、私自身心配しているのが、液状化現象の激しい地域で下水道管が崩壊し、直接流すのが不可能ではないかと思えます。このことについて、上下水道局として、どの

ような対応策を考えているかお聞かせください。

**【事務局】**

液状化現象については、管ではなくマンホールが浮上するというケースが確認されています。局としても緊急路線に対しまして、マンホールの浮上防止を行う調査をしております。この調査結果を基に浮上されるだろうと思われる箇所につきましては、年次的に対応を考えております。

**【委員】**

具体的には、どのような対応を考えていますか。

**【事務局】**

浮上しない工法がいくつかありますので、既存のマンホールに対して浮上しない防止策を考えていきます。

**【委員】**

マンホールを含めた周り全体が浮上してしまうのでしょうか。

**【事務局】**

マンホール自体が浮き袋のように浮いてしまいます。浮上防止の策として、重石を載せる工法等がありますので、その工法を検討する中で対応していきたいと考えております。

**【委員】**

対応策を聞いて安心しました。

**【座長】**

いずれにせよ、いつ起きるか分からないので、「検討しています」、「考えています」では間に合わないですね。

**【事務局】**

緊急路線をメインに調査をし、62ヶ所結果が出ておりますので、年次的に整備をしていく計画で進めてまいります。

**【座長】**

是非、他の市町村に遅れをとるようなことにならないよう進めてもらえればと思います。

他にありますか。

**【委員】**

ゲリラ豪雨のような突発的な雨が降ると下水道が満杯になり、内水氾濫を起こしかねないと聞いたことがあるのですが、そのあたりの対策はどのようなになっているのでしょうか。

**【事務局】**

現在、分流地区の不明水対策の事業を進めております。調査をする中で、不明水の多い箇所から順に管更生進めております。

**【座長】**

基本的な対策は出来ているということですね。

他にありますか。

他に質疑もないようですので、それでは、(2)「その他」に移らせていただきます。

委員の皆さまから、本日、何かご提案等ございましたら、お願いいたします。

**【座長】**

ご提案もないようですので、これで次第 6「懇話」を終わらせていただきます。

以上